



2023年11月8日

各位

会社名 株式会社イーエムネットジャパン  
代表者名 代表取締役社長 山本 臣一郎  
(コード番号：7036 東証グロース)  
問合せ先 常務取締役 CFO 兼管理統括部部長 村井 仁  
(TEL. 03-6279-4111)

当社の親会社 ソフトバンクグループ株式会社  
代表者名 代表取締役 会長兼社長執行役員 孫 正義  
(コード番号：9984 東証プライム)

当社の親会社 ソフトバンク株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮川 潤一  
(コード番号：9434 東証プライム)

## 2023年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえた結果、2023年8月9日に公表いたしました2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の通期業績予想を以下のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の通期業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

|                           | 営業収益<br>(百万円) | 営業利益<br>(百万円) | 経常利益<br>(百万円) | 当期純利益<br>(百万円) | 1株当たり<br>当期純利益<br>(円銭) |
|---------------------------|---------------|---------------|---------------|----------------|------------------------|
| 前回発表予想(A)                 | 1,349         | 80            | 87            | 56             | 14.64                  |
| 今回修正予想(B)                 | 1,368         | 105           | 115           | 75             | 19.72                  |
| 増減額(B-A)                  | 19            | 25            | 28            | 19             |                        |
| 増減率(%)                    | 1.4           | 31.3          | 32.4          | 34.8           |                        |
| (ご参考) 前期実績<br>(2022年12月期) | 1,466         | 230           | 238           | 175            | 45.85                  |

#### 2. 業績予想修正の理由

当社の属するインターネット広告市場は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大、ウクライナ情勢、物価高騰など国内外の様々な影響を受けつつも、社会のデジタル化を背景に好調に推移しております。

一方で、当社の主なクライアントであります中小企業の景況感は、2023年7-9月期の全産業の業況判断DI（「好転」-「悪化」）が▲12.8とマイナスで推移しており、3期ぶりに低下しており（独立行政法人 中小企業基盤整備機構「第173回 中小企業景況調査」より引用）、依然として中小企業の広告需要については不透明な状況が継続しております。こうした背景を踏まえ、2023年8月9日付で「2023年12月期の通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」を公表いたしました。

当社は、引き続き新規顧客の獲得や既存顧客の広告予算増加に注力し、またソフトバンク株式会社との協業拡大に注力して参りました。こうした状況下におきまして、広告代理店手数料の営業収益は、8月9日に公表いたしました修正後の業績予想のとおり推移しており、引き続き修正後の業績予想で推移するものと想定しております。一方で、ソフトバンク株式会社との協業につきましては、8月9日に公表いたしました修正後の業績予想を上回る水準で推移しており、10月以降もソフトバンク株式会社からの案件の拡大が見込まれ、修正後の業績予想を上回る水準で推移するものと想定しております。また広告媒体からの業務受託案件につきましても、取引の縮小額が8月9日に公表いたしました修正後の業績予想での想定を下回って推移しており、8月9日に公表いたしました修正後の業績予想を上回る水準で推移するものと想定しております。こうした状況を踏まえ、通期の営業収益は、8月9日に公表いたしました修正後の業績予想比で1.4%上回る水準で推移するものと想定しております。

販売費及び一般管理費につきましては、8月9日に公表いたしました修正後と同水準で推移するものと想定しております。以上より、営業利益につきましては、上述の営業収益の増加の影響により、前回発表の通期予想比で31.3%と想定しております。

今般、新型コロナウイルスの感染状況による業績への影響は軽微であるとみておりますが、第4四半期以降の受注見込み等を再確認し、慎重に検討した結果、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益については前回発表の通期業績予想を上回ることが想定されるため、通期業績予想を上方修正いたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

### 3. 期末の配当予想につきまして

なお、通期業績予想は修正いたしますが、期末の配当予想につきましては、前予想どおり15円00銭を予定しております。

以上